

## 市民とともに進める 災害につよいまち

災害発生時には迅速な情報伝達や、応急対応、災害復旧など、さまざまな対応が必要となります。

そのため、糸満市では、第5次糸満市総合計画に基づき、公助に加えて自助・共助による防災力の強化を進めています。

## 「いつもの備え」が、 「いつかの助け」に。

災害はいつ・どこで・どのように発生するか分かりません。また、予想以上の甚大な被害をもたらす可能性があります。

日頃から災害に備えておくことで、被害を最小限に抑えるとともに、災害時にスムーズに行動できるようにしましょう。



地域防災計画改訂事業

令和6年度に糸満市地域防災計画を改訂します。改訂にあたって、時代に沿った災害予防や応急対策、災害復旧などを計画的かつ有効的に実施できるように、関係機関と会議を行い、内容が精査されます。

**Pick up.**

地域防災計画策定業務受託事業者  
ランドブレイン株式会社  
沖縄事務所 高牧 弘 所長



台風などの風水害や地震・津波などの災害に備えるため、市民の皆さまに一層活用してもらえる計画づくりを頑張ります。



防災行政無線機能強化更新事業

東日本大震災被災者への調査で、大津波警報の入手先は防災行政無線が最も多かったとの結果があります。今回の機能強化で、これまで以上に聞こえやすくなるため、迅速な避難行動につながることが期待されます。

**Pick up.**

防災行政無線機能強化更新業務受託事業者  
沖電気工業株式会社  
稀代 恭平 さん



無線システムの一新で、放送と一緒にメールやSNSなどで情報配信が可能となり、情報伝達の迅速化と多様化につなげます。



防災士養成事業

災害に備え、平時から防災を意識する環境づくり推進のため、市職員や自主防災組織の推薦人に防災士資格取得の助成を行っています。資格取得後は、自助・共助の鍵となる地域防災リーダーとなることが期待されます。

**Pick up.**

新屋敷区自治会自主防災会推薦で防災士資格を取得  
糸満市消防団  
神谷 かおり さん



防災を深く学び大規模災害に備えたいと思い、防災士資格を取得しました。自助・共助の輪が広がるように頑張ります。

**家族の安否確認と一緒に  
避難場所や避難経路の確認を**

災害発生時に備え、日頃から安否確認の方法や集合場所、避難場所、避難経路を話し合しましょう。災害時に連絡が取れないことを予測し、次のサービスを利用しましょう。

**災害用伝言ダイヤル**

局番なしの「171」に電話をかけると伝言を録音でき、自分の電話番号を知っている家族などが伝言を再生できます。



**ローリングストックで  
食料・飲料を確保**

ローリングストックは「蓄える」「食べる」「補充する」を繰り返して一定量の食品を備蓄することです。普段の食料を少し多めに買い、古いものから消費するため、無理なく簡単に始められます。

**Rolling Stock**



**非常用持ち出し袋で  
スムーズな避難行動**

自宅が被災したときは、安全な場所で避難生活を送ることになります。非常時に持ち出すべき物をあらかじめリュックサックなどに詰めておきましょう。

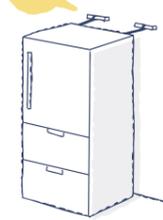
詳細はホームページ！  
チェック！




**家具が「凶器」になる前に二次被害防止対策を**

大地震発生時、大きく揺れている瞬間は何もできません。背の高い家電や重い家具の転倒防止対策や窓ガラスの破損対策など、二次被害の防止対策を心がけましょう。

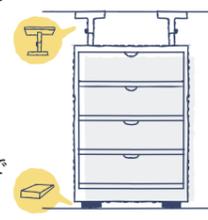
器具で壁面に固定



粘着テープや粘着ゴムで固定



つつ張り棒で固定



マット式の粘着シートで床面と接着



飛散防止シートでガラスの飛散防止

